



【CBDCA+PEM+Dur療法について】 (カルボプラチン+ペメトレキセド+イミフィンジ)



ID:

様

1

コース目



お薬の名前と治療のスケジュール (副作用の状況を考慮して、抗がん薬の影響が強く残っていると考えられる場合は、次の治療開始を延期することがあります。)

薬の名前	作用	めやすの時間	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1日目
パンビタン末	葉酸を含む 総合ビタミン剤	1日1回 内服																						
イミフィンジ注	免疫力を高める薬	1時間																						
アロカリス注 パロノセトロン注 デキサート注	アレルギー予防・ 吐き気止め	30分																						
ペメトレキセド注	抗がん剤	10分																						
カルボプラチン注	抗がん剤	1時間																						
※ ペメトレキセド注による副作用軽減のため、パンビタン末(葉酸の粉薬)の内服、メチコパール(ビタミンB12)の注射を行います。																								



この週は
お休みです。



この週は
お休みです。



治療による副作用

:注意が必要な時期

		1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1日目
自覚 症状	食欲不振・吐き気																						
		食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。																					
	皮疹																						
		皮膚に痒みや発赤などの症状が出た場合はお知らせ下さい。																					
脱毛(頭髪・まつ毛・眉毛など)																							
	髪質が少し変わることもあります。治療後半年程度でまた生えてきますので、心配しすぎないでください。																						
検査 値	白血球減少																						
		感染しやすくなりますので、手洗いうがいを心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																					
	赤血球減少(貧血)																						
		貧血の症状(動作時の息切れ、動悸)がでたりします。転倒に注意しましょう。																					
	血小板減少																						
出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																							
肝機能低下																							
	体がだるい、食欲がでない、皮膚のかゆみ、皮膚や白目が黄色くなる場合があります。																						



- * 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
- * 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
- * それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
- * 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。

イミフィンジの
治療を受けている
患者さんへ

思い当たる症状はありませんか？

下記のような症状があらわれた場合には、次の受診日待つことなくただちに主治医または看護師に連絡してください。

呼吸器系の変化



- ・息切れ
- ・新規または悪化する咳

胃腸系の変化



- ・1日に1～4回の排便回数の増加
- ・便の色・状態の変化
(黒い、便に粘液や血液が混じるなど)
- ・1日に3回以上の嘔吐
- ・食事ができないような吐き気
- ・腹痛

筋肉の変化



- ・筋力の低下
- ・痛み
- ・体がだるい
- ・まぶたがたれ下がる

皮膚の変化



- ・発疹
- ・かゆみ
- ・皮膚や白目が黄色くなる
- ・青あざ

一般的症状の変化



- ・頭痛
- ・38℃以上の発熱
(悪寒の有無にかかわらず)
- ・めまい、意識がうすれる
- ・眠っても疲れが残る
- ・冷えるを感じる
- ・血尿、
尿の色の変化(黒色、紅茶色)
- ・食べ物を飲み込めない
- ・鼻血
- ・歯ぐきの出血

特に注意が必要な副作用

ここに記載されていなくても、普段とは異なる症状
があらわれた場合は、次の受診日待つことなく
ただちに主治医または看護師に連絡してください。

アストラゼネカ株式会社

医療機関名		主治医名	
電話番号		緊急連絡先	

副作用	主な初期症状
肺機能障害 (間質性肺疾患)	・咳 ・息切れ ・呼吸がしにくい ・胸の痛み ・発熱
胃腸障害 (大腸炎、重度の下痢)	・下痢 ・排便回数の増加 ・便の異常(黒い、便に粘液や血液が混じるなど) ・激しい腹痛
内分泌障害 (甲状腺、副腎、 下垂体の機能障害)	・冷えるを感じる ・体がだるい ・気分や行動の変化(興奮、忘れやすいなど) ・体重の増加/減少 ・便秘 ・声の変化 ・食欲の増加 ・めまい、意識がうすれる ・吐き気、嘔吐 ・腹痛 ・抜け毛 ・頭痛 ・いつもより排尿回数、量が多い ・のどの渇き ・汗を多くかく(多汗) ・胸がドキドキする(動悸、頻脈) ・手指のふるえ ・息切れ
1型糖尿病	・のどの渇き(水を多く飲む) ・いつもより排尿回数、量が多い ・疲れやすい ・吐き気、嘔吐 ・腹痛 ・意識がうすれる ・低血圧
肝機能障害	・吐き気、嘔吐 ・食欲の低下 ・腹痛 ・皮膚や白目が黄色くなる ・尿の色の変化(濃い色) ・眠気 ・内出血しやすい、血が止まりにくい
腎障害	・血尿 ・尿量の変化(尿量が減る・尿が出ない) ・食欲の低下 ・下肢のむくみ
筋炎・横紋筋融解症	・筋力の低下 ・体がだるい ・痛み
重症筋無力症	・まぶたがたれ下がる ・物が見えにくい ・食べ物がうまく噛めない ・飲み込めない ・うまく発音できない ・頭が持ち上がらない ・筋力の低下 ・呼吸が苦しい
心筋炎	・動作時の息切れ ・疲れやすい ・動悸 ・胸痛
免疫性血小板減少性紫斑病	・鼻血 ・点状や斑状の皮下出血(青あざができる) ・歯ぐきの出血 ・出血が止まりにくい ・血尿 ・月経過多
薬剤の注入に伴う反応	・皮膚が赤くなる、かゆみ、発疹 ・寒気、ふるえ ・息切れ ・めまい ・意識がうすれる ・発熱 ・背中や首の痛み ・顔がはれる

特に注意が必要な副作用

アストラゼネカHP

「イミフィンジ治療日誌、副作用初期症状ポスター」より参照

香川大学医学部附属病院薬剤部